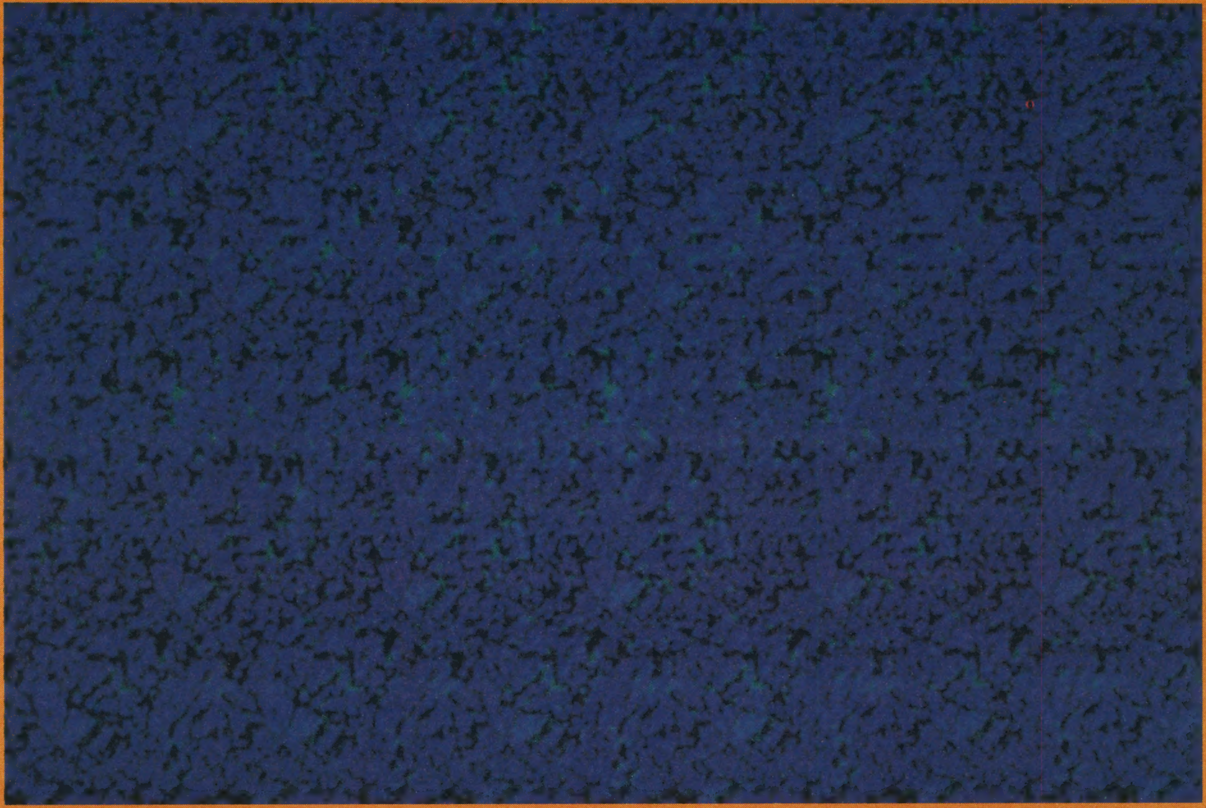
3D Art Gallely of MARIO

［3D・アート・ギャラリー・オブ・マリオ］

Art 1

題材：マリオの全身



※こちら側を下にして見て下さい。

マリオ無限増殖

『スーパーマリオ』のW3－1で、最後の階段から降りてくるノコノコの2匹目をタイミングよくふんずける。すると跳ね返ってきた甲羅をマリオが何度もふんずけ、タイムの許す限りマリオを増やすことが可能だった。この技があれば、アクションの苦手な人でも難なくクリアにたどり着ける。こういう「遊び安さ」が、マリオの人気の秘密なのかもね。

ステレオグラム制作／天児秀司





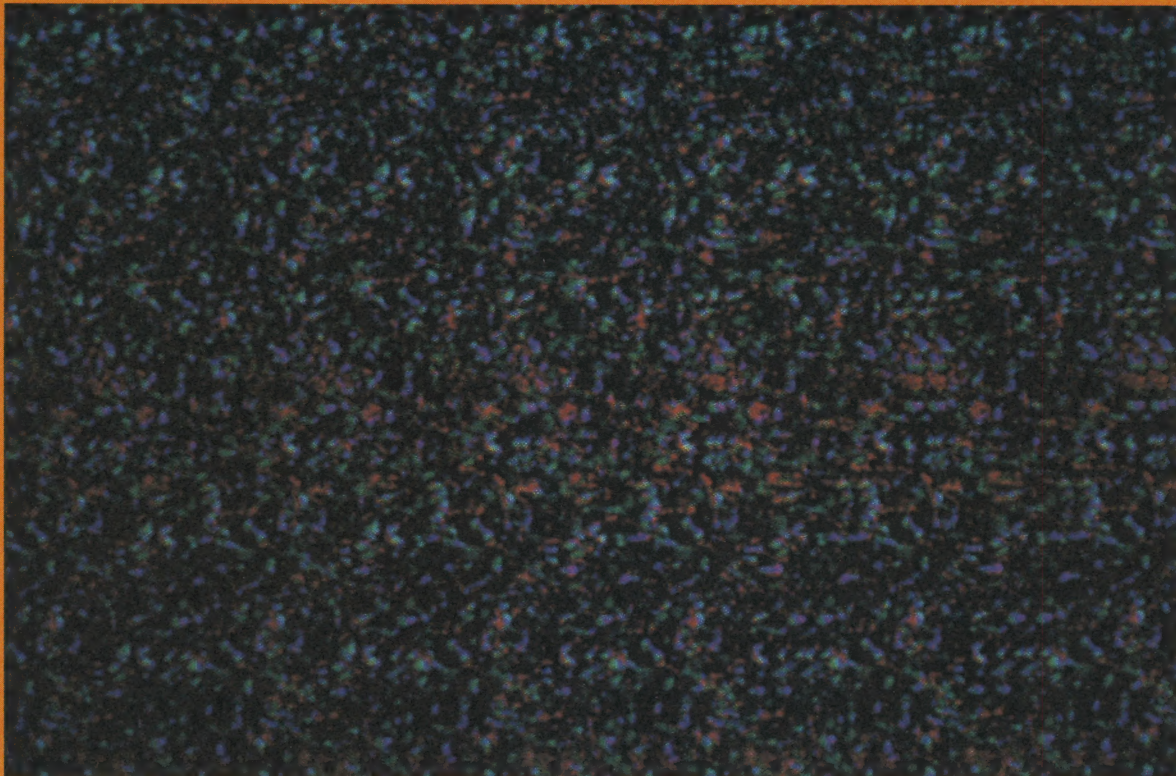
幻のW256

「テニス」ソフトをFCで立ち上げ、スイッチを切らずに抜く。そのまま「スーパーマリオ」のソフトをさしてプレイすると、W256が登場することがあるのだ。この情報は当時マリオファンを沸かせたが、スイッチを切らずにソフトを抜き差しするとFCが壊れる恐れがあるため試すこともままならなかった。見たことのある人はかなりの度胸の持ち主だ。

3D Art Gallely of MARIO ……… Art2

［3D・アート・ギャラリー・オブ・マリオ］

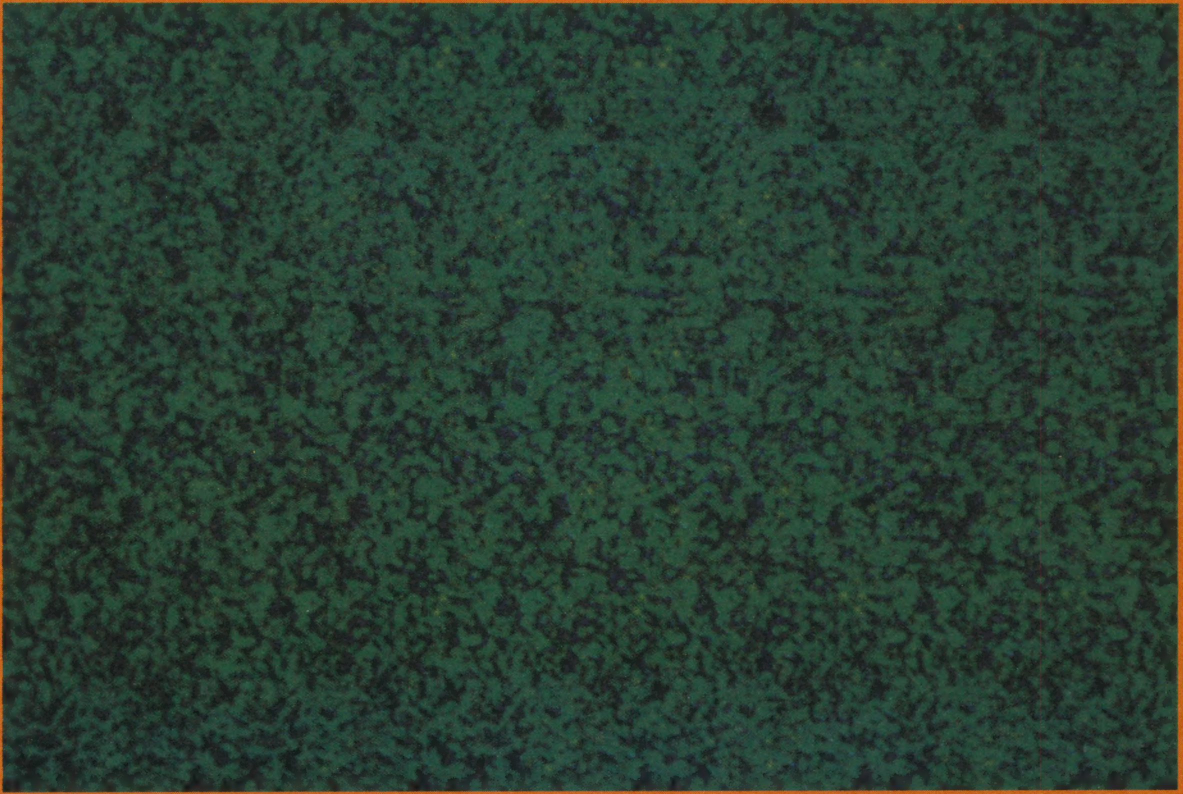
題材：クッパの顔



3D Art Gallely of MARIO ……… Art3

[3D・アート・ギャラリー・オブ・マリオ]

題材：ヨッシー



連発花火のヒミツ

『スーパーマリオ』でゴールしてポールにつかまると、花火が何発か上がることがあった。実はこれ、残りタイムの末尾によって数が決まるのだ。末尾が1なら1発、3なら3発、6なら6発といった具合い。他の数では花火が上がらないので、ゴール直前でタイム合わせのために待つ、なんてこともよくやったもんだ。花火はやっぱり気持ちいいもんね。

